タンザニア国　持続的な森林経営のための宮崎型木材産業振興に関する基礎調査

株式会社川上木材、有限会社サンケイ（宮崎県宮崎市・日向市）

タンザニア国分野における開発ニーズ（課題）

・毎年48万haずつ森林が減少。多くは薪として燃やす
・森林の経済的価値を高め、持続可能な森林利用・保全を行いたい
・民間セクターにおける林産資源のバリューチェーン改善の必要

提案製品・技術

・合形集成等の独自のウッドエンジニアリングによりタンザニアの製材業を「稼げる製造業」に転換する

・技術とデザインで「使い手」の需要を拡大する

本事業の内容

・契約期間：2022年11月～2023年12月
・対象国・地域：タンザニア国ダルエスサラーム、ドドマ、マフィンガ
・カウンターパート機関：タンザニア国産業貿易省、林野庁
・案件概要：宮崎型の持続的な利活用ー責任ある方法で伐採・搬出された原木を、人工乾燥や(有)サンケイ独自の台形集成等のウッドエンジニアリング技術により余すことなく良質な素材として加工するーを導入する
（MOTTAINAI:Miyazaki Optimized Tree to Timber APProach in Africa）

使いにくい部位を組み合わせて歩留まりを向上させた合形集成材

開発ニーズ（課題）へのアプローチ方法（ビジネスモデル）

・既存製材所に乾燥機等の設備を設置し、反りや歪みの少ない木材を生産できるかを調査する
・養蜂巣箱向けに宮崎の木材加工技術及び製材加工技術を用い製造できるかどうかを調査する。（作り手と使い手をつなぐ）
・家具への利用から始めて、国産木材の消費を拡大。徐々に建材利用に拡大できるかを調査する。

対象国に対し見込まれる成果（開発効果）

・「国家５ヶ年計画」が掲げる、林産業の輸出に占める割合を5.9%（2015年）から6.5%（2025年）に、総労働における従事者割合を0.2%から2%に（同期間）高めることに貢献
・製材をエントリーポイントに上流部分の植林・育林および責任ある伐採・運搬を促進

2022年11月現在